

IFTAUPDATE

2026 Volume 33 Issue 2

IN THIS ISSUE

- 1 President's Report to Colleagues
- 3 Member News
- 4 IFTA 2026 Conference
- 7 2025 Bronwen Wood Award Winner
- 8 In Memoriam
- 11 2026 NAAIM Founders Award
- 12 Congratulations New CFTes
- 13 IFTA Board of Directors Nomination Form
- 14 IFTA Member Societies
- 14 IFTA Update Schedule
- 14 Board of Directors
- 14 IFTA Staff

Next Issue: September 2026

Submission Deadline: 15 August

Education Lounge articles: Send submissions to newsletter@ifta.org.

All other content: Send submissions to admin@ifta.org.

Advertise in the UPDATE and reach more than 7,000+ IFTA colleagues worldwide. For more information, go to www.ifta.org.

a newsletter for the colleagues of the International Federation of Technical Analysts

会員の皆様へ会長レポート



親愛なる皆様へ

金融市場において、人工知能（AI）はもはや未来の概念ではありません。AIはすでに私たちの身近に存在しており、静かに、そして急速に、市場参加者がデータを分析し、パターンを検出し、意思決定を行うプロセスにますます深く組み込まれています。

ここ数ヶ月、私はヨーロッパから米国に至るまで、当社のグローバルな IFTA ネットワークに所属する同僚たちと対話を重ねてきました（最近ではサンフランシスコでの議論も含みます）。その中で、あるトピックが繰り返し取り上げられました。それは、テクニカル分析におけるAIの役割の拡大です。

それも当然のことでしょう。人工知能は膨大な量の市場データを数秒で処理できます。チャートパターンをスキャンし、異常を検知し、過去の構造と比較し、ほんの数年前までは想像もできなかった方法で分析ワークフローを支援することができるのです。我々、専門家集団内から生まれた取り組みも含め、いくつかの企業では、人工知能と伝統的なテクニカル分析の原則を組み合わせたツールを積極的に開発しています。

これは脅威ではありません。進歩なのです。しかし、進歩は重要な疑問も投げかけています。もし機械がパターンを識別できるなら、テクニカルアナリストの役割は何か残るのでしょうか？

私の見解では、その答えは明らかです。テクニカル分析は、決して単にチャート上のパターンを認識することだけではありません。それは文脈に基づいた解釈であり、ブレイクアウトが脆弱な市場環境下で起きているのか、それとも健全なトレンドの中で起きているのかを理解することです。それは、市場のセンチメントがシグナルを確認しているのか、それとも矛盾しているのかを認識することです。価格の動きを、市場構造、市場心理、市場間の関係、そして専門的な経験と結びつけることなのです。

The IFTA UPDATE is a publication of the International Federation of Technical Analysts, Inc. www.ifta.org, a not-for-profit professional organization incorporated in 1986.

International Federation of Technical Analysts
1300 Piccard Drive, Suite LL 14
Rockville, MD 20850 USA
Email: admin@ifta.org • Phone: +1 (240) 404-6508

IFTA2026 Annual General Meeting

Thursday, 8 October
(14:00–16:00)

**One Moorgate Place
Chartered Accountants Hall
1 Moorgate Pl, London, UK**

All IFTA colleagues are encouraged and invited to attend. For further information, contact IFTA staff

機械は「ヘッド・アンド・ショルダー」パターンを特定できるかもしれませんが。しかし、経験豊富なアナリストは、それが重要かどうかを問うのです。この違いは極めて重要です。なぜなら、AIがスピード、効率、そしてデータ処理能力を向上させるかもしれない一方で、判断は依然として人間に委ねられているからです。少なくとも現時点では、そしておそらく、この事は多くの人が予想するより長く続くでしょう。

テクニカル分析は常に、科学と芸術を融合させてきました。ルールと解釈。構造と経験。それこそが、私たちの職業が今なお重要であり続ける理由です。テクニカルアナリストとして、私たちの役割はイノベーションに抵抗することではありません。むしろその逆です。私たちはより優れたツールを受け入れ、自らの前提に疑問を投げかけ、技術の進歩に対してオープンであり続けるべきです。しかし同時に、容易に自動化できないもの——専門的な判断、文脈を踏まえた思考、規律、そして不確実性を解釈する人間の能力——を忘れてはなりません。

テクニカル分析の未来は、「人間対機械」という構図ではないかもしれません。むしろ「人間と機械の共存」となるでしょう。そして、その未来はすでに始まっています。

With warm regards,



Wieland Arlt
IFTA President 🇩🇪